

デイリーレポート

船長署名



船名	大島丸		情報発信日時	2025 年 4 月 21 日 16 時 45 分					
現在位置	航海中	時 分		概位					
		<Lat. -		N/S Long. -		E/W >			
	停泊中	時 分		概位					
		<Lat. -		N/S Long. -		E/W >			
	錨泊中	時 分		概位					
	<Lat. -		N/S Long. -		E/W >				
観測中	操業中	時 分		概位					
		<Lat. -		N/S Long. -		E/W >			
本船状況 気象海象	針路:	- 度		船速:	- kt		天候:	bc	
	風向:	NNW		風速:	2.4 m/s		視界:	7 浬	
	波高:	0.7 m		風浪階級:	2		うねり階級:	1	
乗船者 状況	乗組員	現在員:	19 名		健康状態:	良好		不良	
		摘要:							
	生徒	現在員:	14 名		健康状態:	良好		不良	
		摘要:							
	指導教官	現在員:	3 名		健康状態:	良好		不良	
		摘要:							
	アドバイザー スタッフ	現在員:	1 名		健康状態:	良好		不良	
		摘要:							
○本船動静									
04月21日03時30分 生物調査実習実施海域(鳥島)着									
04月21日06時00分～07時20分 生物調査実習事前調査実施									
04月21日08時40分～11時25分 生物調査実習実施									
○予定変更理由									
Nil									
【学校側コメント】									
昨日の海況は、予想通り南寄りの風も8m/s前後の風速で波高も1mを少し超える程度でした。 予定していた実習メニューは全てこなすことが出来ました。特に機関室での見学学習は船酔いをする者もなく、全員が元気に機関室の各機器の見学、そして制御室ではモニター画面を見ながら機関長の説明に聞き入っていたようです。「棒刷り」もきちんと出来ました。最初の頃に比べると声も大きくなり、擦るブラシの先にも力が入っていました。夜の学習では本日の底魚釣り実習の実際に向けて教官からきめ細かな諸注意がありました。餌切りに使用する包丁の取り扱い、巻き上げたハリスと釣り針の取り扱い方、漁獲物の取扱い方法、そして足元や手先に対する細心の注意等、これらの注意事項は、実習を安全確実に行うために守らなければならない事項です。 明けて本日、03時過ぎには鳥島の北方海域に到着しました。この時の海況は西北西の風・風速は5m/s前後。波高は小さく、底魚釣り実習には最適の海況でした。生徒は朝の課業を終えたら、いよいよ生物調査(底釣り)実習開始です。本船右舷側に釣り座とタックルの準備を行い、08時40分に開始しました。早速、釣り竿がしなり最初に釣り上げたのは6キロのカンパチでした。 本日の詳しい釣果は明日のコメントに記述します。調査海域ですが、鳥島が間近に見えるポイントです。海鳥の飛び交う中での底釣り実習、海鳥の中には、鳥島に生息する「アホウドリ」の姿も見られました。一時は絶滅危惧種になった極めて貴重な鳥ですが、今は保護が進み絶滅の危機を抑えることが出来ているそうです。絶滅させてしまうのも人間、これでは駄目だと保護策を講じるのも人間です。飛び交うアホウドリを観て何かを感じ取ってくれていたらと思います。									